SARSHI(HERO)が、あなたのためだけにライブをお届け。それが「～ONE on ONE～」企画!!

「12月6日
に恵比寿LIQUIDROOMを舞台にHEROが活動を再開」というニュースが世間を騒がせたのは、つい先日のこと。HEROのメンバーとして。並行し、ナナ・Flutter
Echoのメンバーとしても精力的に活動しているSARSHI。中でもFlutter
Echoはみずからヴォーカルも担うバンドのように、彼自身の音楽性が色濃く投影されている。
ギタリストとして、時にはヴォーカル&ギターとして、自身の胸の内を旋律や歌声に乗せ届けているSARSHI。そんな彼の心には、とある想いが渦巻いていた。それが、「僕の音楽を求める人がいるなら、その人自身へ直接歌や演奏を届けたい」ということ。その意思のもとに立ち上げたのが、「～ONE on
ONE～」という企画だった。その趣旨について、まずはSARSHI自身の言葉を読んでいただきたい。

「バンドやアーティストがライブを企画する場合、「みんなの元へ逢いに行くよ」と言葉にしながらも、どうしても「ライブをやるなら、逢いに来て」となってしまうことが往々にしてあること。もちろん、そうせざるを得ない理由もわかります。「逢いに行きたくても、(現実問題として)行けない」、そこへ僕もずっとジレンマを抱え続けてきました。
僕は今、Flutter Echo・ナナとして活動。12月6日
からはHEROが復活すれば、他にもセッションなど、いわゆるバンド活動を通してファンたちと触れ合う機会を作っています。何事もそうですが、誰かと行動を共にすることで、その活動規模に合わせ出来ることと出来ないことがどうしても生まれてしまう。だけど、それが”僕一人”だったら。フットワークはものすごく軽くなれる。それこそ、自分と相手の都合や条件さえ合えば、その人のために歌を届けるのだって可能なこと。そこから、今回の「～ONE on
ONE～」という企画が誕生しました」

「～ONE on
ONE～」という企画が生まれるきっかけとなったのが、大切な”きみ”へ向けた『君へのラブソング』という楽曲が生まれたことだった。

「僕は、毎年3月4日
に「さ～しの日」と題した主催イベントを開催しています。今年は、そのイベントの中、僕自身が歌う形で『君へのラブソング』という楽曲を作り、みなさんの前で披露しました。そのライブを終えたときに感じたのが、”君”
というたった一人へ向けた歌のように、「『君へのラブソング』は大勢の人たちへではなく、僕を求めてくれる”君”というたった一人へ向けて歌いたいな」という想いでした。そこから、「”ぼくときみ”だけの形で歌を届けたい」「僕一人だけなら相手の都合に合わせたライブだって開催で

きれば、僕自身の気持ちを濁すことなく100%真っ直ぐに届けていける」想いが生まれ、「僕が君のためだけに歌を届けにいくよ」という今回の「～ONE on
ONE～」企画が誕生したわけなんです」

「～ONE on
ONE～」企画は、依頼者とSARSHI自身の予定を調整。互いの都合が合致した日時で、SARSHIが都内にスタジオを用意。所定の金額さえ支払えば、「SARSHIが、あなただけのための34分間(サーシタイム)のライブを行う」という内容。ライブのメニューも、『君へのラブソング』の歌唱と演奏はもちろん、HERO・ナナ・Flutter
Echoの楽曲の中から依頼者がリクエストした楽曲を目の前でギター演奏してくれる(Flutter
Echoは歌と演奏)。1ステージで7曲くらいを目安に考えているように、どんなセトリを作るのかは”きみ”次第というわけだ。
ライブ後にはチェキの撮影なども行えば、SARSHI自身と言葉も交わす時間もあるように、短い中とはいえ彼と触れ合うことも可能だ。SARSHI自身も、依頼した人がどんな人物なのか、その会話も楽しみたいと思っている。ただし、ライブのために用意した34分間を話すために利用するのはNG。あくまでも、SARSHIのライブへ触れたい人たちのために企画をした内容のように、「きみのためだけのライブをSARSHIがお届する」スタイルを楽しんでもらいたい。

サイトの本オープン前から、仮サイトを通し受付を始めたところ、すでにいろんな方々から問い合わせや実際にオファーも届いている。どんな反響が寄せられているのかも、SARSHI自身の言葉を介してお伝えしよう。

「ファンの人たちの中には結婚をして家庭を築き、子供がいるためにライブに足を運ぶのが難しい人たちもいます。病気(身体の疾患)などの事情や、心に悩みを抱えていることからライブハウスへ足を運ぶのが難しい人たちだっています。それでもみんな、「ライブを観たい」気持ちを僕に求めてくれる。だったら僕自身が、その人のもとへ足を運ぶなり、僕自身の用意した環境へその人を招き入れれば良いこと。それも、「～ONE on
ONE～」を始めた理由の一つとしてありました。
実際に募集を開始したところ、先に触れたような主婦の方や、身体や心の病でライブに足を運びづらい方。時間の都合でなかなかライブに行きにくい仕事の方々などからの依頼が届いています。僕も初めての挑戦ということから、まずは都内のスタジオまで足を運んでくれる人たちと一緒に始めながら。アンプでギターを鳴らせる音響環境さえ整っていれば、いずれはもうちょっと足を伸ばしてライブをやろうとも思っています。
僕個人の想いとしては「1対1」でやりたいんですけど、「一人だと不安なので、友だちと二人でも良いですか」という声も届いているように、そこは臨機応変に対応していくつもりです。もちろん、お子さん連れは大歓迎です。ただ、子供の耳に良い環境ではないので、耳栓やヘッドホンをつけるなり、そこの対策はお願いします。今は「～ONE on
ONE～」という形で僕の音楽を楽しみながら、子供が成長した暁には、それがHEROでもナナでも、Flutter
Echoでも、全部でもいい(笑)。今度は親子でライブを楽しみに来てくれたら嬉しいですからね」

すでにSARSHIは、『君へのラブソング』に続く、「～ONE on
ONE～」企画で披露用の「きみ」に向けたオリジナル曲の制作にも勤しんでいる。彼は、「依頼者の誕生日に合わせて”君だけのためのライブ”が出来たら、その人にとっても忘れられない記念日になるだろうし。僕のライブを、誰かのプレゼントにしてくれても良いなと思ってる」とも語っていたように、「～ONE on
ONE～」企画を素敵な贈り物として使うことも可能なこと。SARSHI自身が何よりも大切にしているのが、「目の前にいる人が歌や演奏を聞いて笑顔や幸せになってくれること」。そのためにどう

使うかは、依頼者である”きみ”次第というわけだ。

SARSHI自身は、今、Flutter
Echoを中心に、ナナのメンバーとしても活動中。12月からは、そこへHEROとしての活動が加わる。他にも、Flutter
Echo・ナナのメンバーであるZeeFが経営している株式会社アットチュードのスタッフの一人として、サウンドクリエイターとして音楽制作にも携わっている。そこと並行し、今回の「～ONE on ONE～」も行う。それだけを聞くと忙しそうに思えるが、SARSHI自身「変に時間を持て余してダラダラしているよりも、追い込まれるほうが気持ちも感性も活性化してゆくこと。時間の使い方さえ間違えなければ、どの活動にも100%の力を注いでいけるように、「～ONE on ONE～」に関しても興味を持ったら遠慮なく申し込んで欲しい」と語っていた。
今回の企画を目にし、少しでも心の食指が動いたなら、まずは問い合わせることからで構わない、みずからアクションを起こして欲しい。きっと届いたメールの先で、SARSHI自身がニヤニヤしながら”きみ”と触れ合えることを楽しみに準備をし始めるだろうから…。

TEXT:長澤智典

SARSHI Web
https://sarshi.buyshop.jp/
SARSHI twitter
https://twitter.com/hero_sarshi
SARSHI instagram
https://www.instagram.com/hero_sarshi/

『スケジュール』

【HERO】
12月6日(金) 恵比寿リキッドルーム(復活ワンマン)

【Flutter Echo】
6月9日(日) 大阪アメ村CLAPPER
6月16日(日) 名古屋今池GROW
8月1日(木) 渋谷DESEO(主催)

【サポートスケジュール】
6月21日(金) 渋谷REX(iceソロ)
7月12～14日 オクラホマ州タルサ（iceソロ）

ファンレターの宛先

〒161-0032
東京都新宿区中落合4-17-17B1F 左号室
株式会社アットチュード
SARSHI宛

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com